

地域での見守り・顔の見える関係づくり



● さりげない見守りや対話集会等により支えあいを充実 岡村東部自治会

民生委員・児童委員や保健活動推進員、自治会役員、友愛活動員などで支えあいメンバーを構成しています。日常生活の中で「洗濯物が何日も干されていない」、「郵便受けに新聞がたまっている」、「夜も電気がつかない」などを気にかける「さりげない見守り」を、民生委員・児童委員の訪問と合わせて実施しています。

また、年2回対話集会を開催しており、支えあいメンバーと見守りの対象者に一緒に参加してもらうことで、顔を合わせる機会を作っています。この会は、健康や消費についての啓発などの講座、ゲームや食事会などざっくばらんな内容で、皆で楽しみながら関係づくりを深めています。

● 自治会の地域福祉部を中心とした支えあいの取組 岡村中部自治会

民生委員・児童委員（以下「民生委員」という）を自治会の地域福祉部役員に位置付けることで、民生委員活動を越えた幅広い取組ができるようになりました。中でもほぼ月1回開催している「高齢者支え合い交流会」は、民生委員の見守り対象者の安否確認も兼ねて実施しています。出席予定者が連絡なく欠席した場合には、民生委員は次回の交流会までに訪問し、安否確認をするというルールを設けています。



● 支えあいのメンバーによる組織的な見守り訪問等の実施 栗木町内会

町内会役員、民生委員・児童委員や保健活動推進員、赤十字奉仕団やボランティアなどの支えあいのメンバーで、組織的に見守りを実施しています。メンバーは4名の民生委員・児童委員を中心に4班に分かれており、月1回は見守りの対象者全てを訪問できるように、各班で事前に訪問計画を立て、2名体制のローテーションで訪問を実施しています。また、年11回開催のひとり暮らし高齢者等を対象にした「ふれあい昼食会」も各班で順番に担当するなど、計画的に見守りができる体制にしています。

梅さんコラム
2

救急医療 情報キット

区役所が「救急医療情報キット」を配布しているのは知ってるかな？

「救急医療情報キット」とは、家族などの連絡先や服用薬などの医療情報、健康保険証などの写しを容器や袋に入れて自宅の冷蔵庫に保管しておき、万が一の時に救急隊員などに必要な情報を提供できるように備えておくためのキットです。キットの配布を通じて顔の見える関係づくりなどに役立っている自治会・町内会もあります。



表示シート



本人確認シート



表示ステッカー